

## 蒲生干潟における植物の再生過程(2)最初の開花個体

### 概要

津波被害後の蒲生干潟で最初の開花個体を確認した。ハマハタザオである。また6月14日の調査でハマナスの開花を確認した。

### 調査方法

調査は5月12日ならびに6月14日に実施した。干潟全域を踏査し、植物の再生状況を確認した。特に開花個体に着目し、写真撮影をした。開花個体については、1個体当たりの着花数と自然高を測定した。

### 結果と考察

津波被害後で最初に開花したのはハマハタザオであった。以前生育していたハマニガナ・ハマヒルガオ・ハマエンドウ等を見出すことはできなかった。

### 1)ハマハタザオ

最も標高の高い(とはいっても海拔1m未満である。)地点で14個体確認した。そのうち着花個体は6個体であった。Fig.1はそのうちの最大個体を撮影したものである。



Fig.2 ハマナス(5月12日)

### 2)ハマナス

5月12日の時点では盛んにシュートを伸ばすだけであったが、6月14日の調査では多数の開花個体を確認することができた。開花したもののうち最も低かったのは自然高12cmのシュートであった。

(Fig.1,2)



Fig.1 ハマハタザオ



Fig.3 ハマナス(6月14日) (長島康雄)